

EVにおける超急速充電の課題と対応

講師：中村 光雄 氏

元株式会社 SUBARU 技術研究所

電気自動車の普及に向け、航続距離の伸長、充電時間の短縮、車両価格の低減が求められている。これに伴い、車載バッテリーの大容量化が進行しているが、充電時間とは相反する関係があり、安易な大容量化は商品性、利便性を損なう結果を招いてしまう。そこで検討されているのが、超急速充電である。本セミナーでは超急速充電を実現するための、主として車両側の課題と対応について解説する。

【講師経歴】 1979年4月 富士重工業（株）入社 パワーユニットの電子制御システムの先行開発を担当。1997年～電動車両（EV/HEV）の研究開発に従事。2003年～2005年 NEC ラミリオンエナジー社に外向、電池パック技術開発に従事。2006年～2010年 軽自動車ベースのEV開発に従事。2011年～技術研究所にて電動車に関する要素技術の研究開発に従事。2018年10月（株）SUBARU 退職。

【所属学会】 自動車技術会 蓄電システム技術部門委員会幹事・電気学会 移動体エネルギーストレージ&パワーサプライシステム調査専門委員会

開催日時	2020年3月4日（水）13:30～16:20	【会場】 ちよだプラットフォームスクウェア 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21
受講料	45,000円（+税） ※ 資料代含 * メルマガ登録者 40,000円（+税） * アカデミック価格 24,000円（+税）	

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★ **【メルマガ会員特典】** 2名以上同時申込で申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合、**2名目は無料、3名目以降はメルマガ価格の半額**です。

★ **【セミナー対象者】** EVの超急速充電、ならびに電池技術に関心・課題のある事業企画担当者、研究者など、電動車両の普及、それに伴うビジネス機会を調査されている方、電動車両、充電システム、電池の技術に興味のある方

★ **【セミナーで得られる知識】** 最新の充電規格、車両側の課題、及び動向など。電動車両が普及し始めた背景と、その周辺技術。

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1 背景 1-1 BEVの開発動向 1-2 BEV用LIBの開発動向	4 次世代急速充電規格 4-1 超急速充電規格 4-2 バッテリーシステムへの要求性能 4-3 超急速充電プロファイルの確立 4-4 セルの冷却と昇温 4-5 発熱への対応
2 超急速充電の必要性 2-1 車載バッテリーの大容量化と超急速充電の必要性 2-2 しかし・・・ 2-3 超急速充電への対応	5 今後の動向 5-1 中国との協働 5-2 その他
3 急速充電規格 3-1 現状規格 3-2 充電プロファイル	

弊社記入欄	セミナー申込書		
セミナー名	EVにおける超急速充電の課題と対応		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓	会社名（団体名） 住所 〒	TEL :	FAX :
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
お支払方法		銀行振込・その他	氏名
		お支払予定	年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789